

倉敷管弦楽団

Kurashiki Orchestra

第48回定期演奏会

The 48th Regular Concert



日時：2022年 8月28日(日)

13:00 開場／14:00 開演

会場：岡山シンフォニーホール
(岡山市北区表町1丁目5-1)

主催／倉敷管弦楽団

助成／ エネルギー文化・スポーツ財団

後援／岡山県・倉敷市・山陽新聞社・RSK山陽放送

OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送

(公財)岡山県郷土文化財団・(公財)倉敷市文化振興財団



倉敷市長 伊東香織

倉敷管弦楽団第48回定期演奏会が、岡山シンフォニーホールにて、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

倉敷管弦楽団におかれましては、岡山県を代表するオーケストラとして、多くのファンを魅了し続けられ、本市の音楽文化の発展に多大な貢献をいただいていることに、感謝申し上げます。

今回の演奏会では、松井慶太氏を指揮者としてお迎えし、サン＝サーンスの交響曲第3番ハ短調作品78「オルガン付き」などを演奏されると伺っており、オーケストラとオルガンの奏でる「祈り」をこめた荘厳かつ勇壮な響きが、御来場の皆様に大きな感動を与えるものと確信しております。

結びになりますが、本演奏会の御成功と倉敷管弦楽団の今後ますますの御活躍・御発展をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



倉敷管弦楽団 団長 菊池 東

本日はコロナ禍の中ではありますが、48回目になります倉敷管弦楽団定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

これ程までに長引くとは、思っていなかったコロナの影響で、2年前行った岡山県郷土文化財団主催の、総社でのドボルザーク作曲「交響曲第8番」の演奏会以来、年1回開催される定期演奏会・倉敷音楽祭など、主だった演奏活動がすべて中止となり、クラスター発生を敬遠して、合奏練習さえ出来ない状況が続き、文化活動が出来なくなった悔しい思いを、音楽活動を行っているすべての団体と共に痛切に感じていました。今日の演奏会で、コロナを乗り越えて、音楽を愛する強い思いを、2年分ぶつけていきたいと思えます。

本日は、倉敷管弦楽団48年の歴史の中で、初めて定期演奏会を岡山で開催する事となりました。これはメインの曲がサン＝サーンスの交響曲第3番でオルガンが必要という事で岡山シンフォニーホールとなったものです。元々倉敷管弦楽団の団員は、岡山県下全域から構成されていますので、倉敷に限った楽団ではありません。定期演奏会では将来が有望な指揮者を招き、地方に存在感のある楽団として、楽団のレベルアップを図ってきました。

今回は指揮者に初共演となる松井慶太氏をお招きし、久しぶりの演奏会に、団員一同ワクワクしています。本拠地、倉敷市民会館の響きとは多少違いますが、倉敷のサウンドを岡山シンフォニーホールで存分にお楽しみ頂ければ幸いです。

ジュゼッペ・ヴェルディ
歌劇「ナブッコ」序曲

ヨハネス・ブラームス
ハイドンの主題による変奏曲 作品56a

(休憩15分)

カミーユ・サン＝サーンス
交響曲第3番ハ短調 作品78 《オルガン付き》

管弦楽：倉敷管弦楽団
オルガン：重利和徳
指揮：松井慶太

指揮者／Conductor

1984年青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを故島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子に師事。2006年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニック・オーケストラにて指揮をチョン・ミョンフンに師事。

2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。

これまでに、ライプツィヒ交響楽団、プラハ交響楽団室内オーケストラ、ドナウ交響楽団、東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、札響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、山響、東京吹奏楽団、東京室内歌劇場等を指揮。2008～2014年には、N響定期演奏会にてデュトワ、ミョンフン、ルイージ、ソヒエフらのもとで合唱指揮を務め、公演を成功に導く。

2017年からはオーケストラ・アンサンブル金沢、伝統芸能&室内オペラシリーズを指揮し、好評を博している

2011年～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス。

2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターに就任。



松井 慶太
Keita Matsui

オルガン／Organ

岡山県立岡山城東高校、東京藝術大学音楽学部器楽科、くらしき作陽大学音楽部音楽科モスクワ音楽院特別演奏コース卒業。くらしき作陽大学音楽専攻科ピアノ専攻修了。ピアノを筒井恵子、日高七重、笠間春子、アンドレイ・ピサレフ、ウラディミール・オフチニコフ、山崎孝の各氏に師事。

第26回山陽学生音楽コンクール高校の部第1位、第46回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位、第76回読売新人演奏会出演。

フツベル平和記念第13回鳥栖ピアノコンクールにてフツベルグランプリ及びコンチェルト大賞受賞。

オーケストラ・アンサンブル金沢（くらしき作陽大学創立40周年記念演奏会）、ゼフィール合奏団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」、出雲フィルハーモニーアカデミーオーケストラとグリーグのピアノ協奏曲、福岡室内合奏団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、倉敷管弦楽団とサン＝サーンスのピアノ協奏曲第5番「エジプト風」を演奏。

第9回上代記念音楽コンクールにて、最優秀指導者賞受賞。WINER MUSIC SEMINAR (International Master Classics 2013) にて、Johannes Kropfitsch師に師事。

全日本ピアノ指導者協会 (PTNA) 正会員、日本ピアノ教育連盟会員、岡山県演奏家協会々員。現在、くらしき作陽大学・作陽短期大学講師。



重利 和徳
Kazunori Shigetoshi



倉敷管弦楽団
KURASHIKI ORCHESTRA

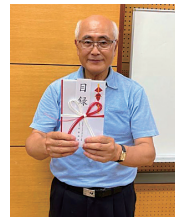
倉敷管弦楽団は、「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に1974（昭和49）年に設立され、今年で48年目となります。

年1回の定期演奏会では、日本を代表する指揮者や新進気鋭の指揮者を外部から招聘して研鑽を積んでおり、その確かな技術と奥深い楽曲の解釈が本楽団の演奏に一層の深みをもたらしています。

また、長年にわたり県内各地域でクラシックの演奏会を開催することで地域文化の向上に尽力するとともに、中国二期会とのオペラ、そして数多くのバレエ、ミュージカル公演や倉敷音楽祭への参加など、多彩な演奏活動を継続しています。

こうした活動により、1982（昭和57）年には岡山県教育関係功労者表彰、1985（昭和60）年には倉敷市文化連盟賞、2004（平成16）年には三木記念助成金、2006（平成18）年には福武文化奨励賞を受賞しました。

本楽団は、これからも倉敷そして岡山県の音楽文化の向上に力を尽くしてまいります。



楽団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00-9:30

練習場所 倉敷市文化交流会館（倉敷市美和1-13-33）

団員資格 オーケストラ経験者で毎週の練習と演奏会に参加できること

募集パート 全ての弦パート、管楽器（ファゴット、バス・トロンボーンほか）、打楽器

詳しくは



<https://kurakan.org>



問い合わせ先



info@kurakan.org



ジュゼッペ・ヴェルディ (1813–1901) / 歌劇「ナブッコ」序曲

初演：1842年、ミラノ・スカラ座

今回初めに演奏いたしますナブッコ序曲はイタリア人の陽気な面がとても色濃く表現されている作品であり、当団の長い活動自粛期間の幕開けに相応しい作品です。

私は当団に入団したのが2020年2月だったのですが、入団時から流行り病の影響による度重なる演奏会中止を経て今回の演奏会が初舞台となりました。そして今日この素晴らしいホールで、幕開けのこの作品を演奏できること大変嬉しく思っております。曲中には少しばかりですがトランペットのソロも出てきます。私自身、当楽団で初めての演奏で緊張しますが、精一杯心を込めて楽しんで演奏いたします。

松井先生との曲作りのの中では、『2拍目（4拍目）に音楽があることを感じることでイタリア人らしさをより表現し易くなる』と教わったことや、『歓喜のリズムはより軽快に』など、考えて行うには難しい課題も賜り、各個人がイタリア人を演じ切ることが必要なことを強く感じました。思想や宗教・言語の違いを越えて表現できる音楽はとても素晴らしいと改めて感じました。

冒頭の金管低音群のコラールや中間部のオーボエやクラリネットからトランペットへと受け継がれる只ひたすらに抒情的な旋律。また一方で静かに始まるがよりエネルギーに展開されクライマックスへと向かう情熱的な旋律。これらの対比はヴェルディの音楽の真髓であり醍醐味であると言えます。幕開けに相応しい音楽を表現いたします。約3年ぶりの倉管の音色をどうぞお楽しみください。

トランペット／山崎雄大

(楽器編成) フルート2 (2番はピッコロ持ち替え)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ (チンバッソ)、ティンパニ、打楽器 (シンバル、小太鼓、大太鼓)、弦5部

ヨハネス・ブラームス (1833–1897) / ハイドンの主題による変奏曲 作品56a

初演：1873年、ウィーン楽友協会

ハイドンの主題による変奏曲は、ハイドンバリエーションを「ハイバリ」と略されることも多く、倉敷管弦楽団の中でも練習予定などでそう呼ばれています。この曲は、ハイドンが作曲したとされる管楽器のためのディヴェルティメント「野外のパーティータ」第6曲の第2楽章「聖アントニウスのコラール」のメロディを主題として用いています。ブラームスはハイドンの研究家である友人を通してこの曲を知りますが、近年ではこのディヴェルティメントはハイドンの真作ではないと考えられています。これはディヴェルティメントのオリジナルの草稿が見つかっていないためで、出版譜は誰かの手による写譜稿が元となっています。たとえディヴェルティメントそのものがハイドン作であったとしても、第2楽章の主題自体はすでに存在していた巡礼歌の旋律を基にしているとも言われており、「ハイバリ」についても「聖アントニウスのコラールによる変奏曲」と別名が与えられているようです。

木管楽器を演奏したことがあれば、木管五重奏の入門として代表的なペリー編曲のディヴェルティメントを思い出す方もいらっしゃるでしょう。その主題は非常に明快で聞き馴染み

やすいメロディとなっており、クラシックに日常で触れていなくてもどこか聞き覚えのあるメロディかもしれません。まずは曲の始めにそのメロディが主題として演奏されるので覚えていただき、その後は「変奏曲」という題名のとおり、主題が次々と違う形で展開されます。子守歌のように優しい曲調なものもあれば（起きて聞いていただければ幸いです）、軽快で力強い曲調になるなど、8つの様々な曲調に変奏された後、感動的なフィナーレで幕を閉じます。中には元々の主題が完全に隠れてしまっているかのように聞こえるかもしれませんが、新しいメロディが次々と現れるのにどこか似ているといった不思議な感覚を楽しんでいただけたと思います。特に終曲は、前からの変奏であると同時に、この曲だけでパッサカリアと呼ばれる構成の一つの大きな変奏曲となっており、最初に5小節の主題を低弦が奏でた後、18もの変奏が展開されます。最後は力強い主題、輝かしいグリッサンドやトライアングル、壮大な和音で終結するので、華々しい倉敷管弦楽団の音色を堪能していただければ幸いです。

オーボエ／羽井佐浩気

(楽器編成) ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、打楽器（トライアングル）、弦5部

カミーユ・サン＝サーンス (1835–1921) ／交響曲第3番ハ短調 作品78《オルガン付き》
初演：1886年、ロンドン

交響曲 第3番ハ短調 作品78「オルガン付」

第Ⅰ楽章 Adagio – Allegro moderato ~ Poco adagio

第Ⅱ楽章 Allegro moderato – Presto ~ Maestoso – Allegro

サン＝サーンスは、86年に及ぶ長い生涯の中で300曲にのぼる様々なジャンルの作品を遺し、国民音楽協会の設立にも携わっているフランス近代音楽の礎を築いた作曲家です。哲学や天文学といった様々な分野の学識に秀でていたそうですが、特に音楽においては幼い頃から頭角を現し、2歳半からピアノを弾き始め、3歳で作曲し、10歳でコンサートデビューを果たしたという、モーツァルトにもたとえられる神童ぶりが伝えられています。パリ音楽院入学後はオルガンでも名声を博し、かのフランツ・リストも「世界で最も素晴らしいオルガニスト」と讃えました。リストは生涯にわたる理解者で、今回演奏する交響曲第3番「オルガン付」は、亡きリストに捧げられています。

最後の交響曲となった第3番は、ロンドンのフィルハーモニック協会の委嘱で書かれ、自身の指揮で1886年にロンドンで初演されました。「持てるものを全て注ぎ込んだ」というこの作品の特徴は、何ととっても楽器編成でしょう。パイプオルガンを要所で大胆に用いるだけでなく、ピアノ（連弾）、多彩な打楽器、そして三管編成の管楽器など、そのユニークさとスケールの大きさは画期的でした。

また、交響曲としては変則的な2楽章構成ですが、内容的には4楽章とも言えるもので、それぞれの楽章はオルガンを効果的に用いたシンメトリーな二部構成になっています。主題のモチーフが全曲にわたり再現される循環形式を用いることで、全体的な統一感も図られています。死者を弔うグレゴリオ聖歌の「ディエス・イレ」を取り入れたとされる主題が、長調短調様々に転調を繰り返し、天使と悪魔の葛藤、死と生の相克を経て、天上のハーモニー

に昇華していく世界観を構築したオーケストレーションは圧巻です。

第一楽章

前半 不吉な予兆を漂わせる静かな序奏の後、陰鬱な主題が示されます。時折光も垣間見えますが、厚い雲に覆われたような憂愁は晴れることなく、再び緊張感に満ちた再現部続きます。

後半 緩徐楽章。厳かに始まるオルガンに弦楽器の叙情的な旋律が重なり、大いなる安らぎと悦びに包まれます。主題が再び不穏な雰囲気醸しますが、やがて音楽は美しい天上へと導かれていきます。

第二楽章

前半 攻めたてるとような緊迫した主題によるスケルツォで始まります。中間部のプレストではピアノが彩りを添えて嬉々とした躍動感にあふれますが、それも束の間、再現部を経て終章へ続きます。

後半 冒頭でオルガンによるハ長調の和音が神の栄光を燦然と輝かせます。まさにオルガンの名手サン＝サーンスの面目躍如と言えましょう。弦楽器によるカリヨン（教会の鐘）に続く金管のファンファーレが色彩豊かに奏でられた後、主題はクライマックスに向けて高揚し、オルガンと管弦打が渾然一体となった絢爛たる響きの渦に飲み込まれていきます。

ユニゾンで演奏することが多く、パートを超えて音色とリズムを合わせながら、対話のようにフレーズをつないでいくのに苦戦していますが、「オーケストラは思いやりでできている」という松井先生のお言葉を胸にとめ、調和に満ちた澄んだ響きとフランス音楽らしいお洒落な味わいをお届けしたいと思います。コロナ禍で中止を余儀なくされて以来、3年ぶりの定期演奏会です。コロナ禍をはじめ、世界中で先行きの見通せない様々な事態が続いていますが、音楽に希望を託して、団員一同この演奏会を新たなスタートにしたいと願っています。どうか皆様と、サン＝サーンスが楽曲に込めた祝福を分かち合うことができますように。

チェロ／平松玲子

(楽器編成) ピッコロ（フルート3番持ち替え）、フルート3、オーボエ2、イングリッシュホルン、クラリネット2、バスクラリネット、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器（トライアングル、シンバル、大太鼓）、オルガン、ピアノ（奏者2人）、弦5部
オルガン：Viscount Classic Organs



倉敷管弦楽団

団長・常任指揮者／菊池 東
 インスペクター／原田 宗範
 ライブラリアン／松本 喜紹

ソロ・コンサートマスター／佐藤真理子
 マネージャー／原田 洋輔 串部 美幸 福島 恭子 糸島 早苗
 監事／大西 智幸 樋口 仁

Violin 1	佐藤真理子 小林 佐知 三宅 郁子	荒木加英子 新谷 敏子 森安 鋭子	大西ひろ ◎藤田 真理 柳井 典子	越宗 宣子 丸山 博樹 渡邊 陽子
Violin 2	菊池 東 奥山 晃子 中塚えりか 山口 拓也	◎上原 保美 串部 美幸 原田 洋輔	大村 奈美 城野 崇彦 林 寛子	岡崎 将丈 中川 雅美 平松 綾
Viola	松江 靖子 片山佳央理 吉田 典子	◎赤塚 佳代 武本 克己	岩田 昌士 野田 卓也	岩瀬 裕子 安井 春香
Violoncello	松江 雄二 平松 真弓	大西 智幸 平松 玲子	◎栗木由美子 松本 圭子	辻田 順子 松本 喜紹
Contrabass	◎糸島 早苗 首藤 恵泉	小埜 七海 野山 広正	* 嶋田 真志 本屋敷勝信	
Flute, Piccolo	河村 香織	◎月本 裕子	※野崎めぐみ	
Oboe, Cor Anglais	瀬尾 祥治	◎羽井佐浩気	吉田 容子	
Clarinet, Bass Clarinet	◎福島 恭子	西島 弥生	松本美和子	
Fagott, KontraFagott	* 西牧 岳	* 西室 伸也	* 太田 茂樹	
Horn	相澤 弘明 ◎澤田 秀実	板谷 信昭 土屋日奈子	岡田 璃生 西崎 大修	
Trumpet	◎原田 宗範	山口 裕司	山口 博子	山崎 雄大
Trombone	樋口 仁	松田英一郎	* 大村昌治郎	
Tuba	◎浅野 尚行			
Percussion	* 今井 忍 ※樋口はるか	* 遠藤 貴	* 宮内 奈美	* 山田 響輝
Piano	* 鳥越 由美	* 日笠比咲子		
Organ	* 重利 和徳			

◎パートマネージャー *客演 ※団友

あかつか眼科クリニック

日帰り白内障手術 は当院で

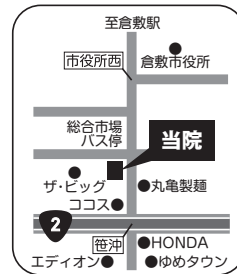
〒710-0834

岡山県倉敷市笹沖 1328-1

tel.086-441-4660

akatsuka-ganka.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:00	○	●	●	●	／	／
●…火曜・水曜は 16:00~18:00						
休診日 木曜午後 土曜午後 日曜 祝日						



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	13:30 まで
15:00~18:00	●	●	●	／	●	／

休診日／木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

糖尿病・内分泌

かねだ内科クリニック

TEL:086-423-1024

院長 金田 伊史

Kaneda Tadafumi

岡山県倉敷市阿知3-13-1

オールファーマシータウン2F



糖尿病・内分泌
かねだ内科クリニック
オールファーマシータウン
あちへいす倉敷2F

中塚医院

内科・泌尿器科
皮膚科
訪問診療

通所リハビリ
居宅介護支援

倉敷市玉島黒崎 3911-1
TEL 086-528-0051



2022年 今後の演奏会

岡山県郷土文化財団クラシックコンサート「オーケストラが大佐にやって来た」

と き：令和4年11月20日(日) 14:00開演 (13:30開場)

ところ：おおさ総合センター 多目的ホール (新見市大佐小阪部1469番地1 TEL 0867-98-2304)

入場料：大人 1,000円、子ども 500円

※一部変更する場合があります。

〈プログラム〉

- ・メンデルスゾーン作曲／劇音楽「夏の夜の夢」より“結婚行進曲”
- ・ドボルザーク作曲／交響曲第9番「新世界」より“第4楽章”
- ・スタジオジブリ (久石譲作品) の名曲集
風の谷のナウシカ／「もののけ姫」より“アシタカせっ記”／「天空の城ラピュタ」より“君をのせて”
- ・ルロイ・アンダーソンの名曲集
シンコペーテッド・クロック／トランペット吹きの休日／そりすべり ほか

眠っているピアノ 不要な楽器を買取します!

高く買取ります!

※買取できないものや、引取料金のかかるものもございます。お気軽にお問合せください。



倉敷の
楽器修理店

あうる 086-441-1501

〒713-8102 岡山県倉敷市玉島1717-1 岡山県公安委員会(第721110021450号)

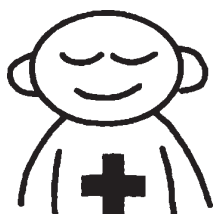
営業時間

平日 11:00 - 21:00

日曜・祝日 11:00 - 20:00

定休日 水曜日

管楽器&
弦楽器修理
ピアノ調律



三浦皮膚科

倉敷市阿知3丁目22-13

TEL (424) 3938



菊池酒造株式会社
代表取締役 菊池東



奇跡のお酒 純米吟醸

フランスで権威あるコンクール
「クラ・マスタート」
金賞受賞



燦然 特別純米 雄町

イタリアの日本酒コンクール
「ミラノ酒チャレンジ」にて
プラチナ受賞

燦然

SANZEN

世界十五ヶ国で
愛飲されている
倉敷の美酒



2023年 今後の演奏会 (予定)

第37回倉敷音楽祭 倉敷管弦楽団演奏会

と き：令和5年3月21日(火・祝)

ところ：倉敷市民会館ホール

〈プログラム〉

- ・ドボルザーク作曲／序曲「謝肉祭」
- ・スタジオジブリ (久石譲作品) の名曲集／交響組曲「魔女の宅急便」より ほか

倉敷管弦楽団 第49回定期演奏会

と き：令和5年7月9日(日)

ところ：倉敷市民会館ホール

〈プログラム〉

- ・ブラームス作曲／交響曲第3番 へ長調 Op.90 ほか



倉敷管弦楽団の最新情報については次をご覧ください。

ホームページ

倉敷管弦楽団



<https://kurakan.org/>



Facebook
(ファンページ)

facebook.com/kurakan



Twitter

@Kurashiki_Orche



Instagram

@kurashiki.orchestra



お客様へのお願い



携帯電話の電源をお切りください。

マナーモードでも、作動しますと近くの方のご迷惑になる場合があります。
その他にも、アラーム付き腕時計など、音が鳴らないようご配慮ください。



撮影、録音はお断りいたします。

開演中の許可のない写真撮影、録音、録画は堅くお断りいたします。



補聴器のご利用にはご注意ください。

補聴器を正しく装着されていない場合、音を発する場合がございます。音漏れがないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。



感染予防対策にご協力ください。

入場時には体温チェックをさせていただきます。
入場時の手指消毒、マスク着用をお願いいたします。
会場内ではソーシャルディスタンスを確保し、会話は控えめでお願いいたします。